

平成26年6月23日
北海道旅客鉄道株式会社
日本貨物鉄道株式会社

江差線 札苅駅構内における貨物列車の脱線について

平成26年6月22日 4時15分頃に発生した江差線 札苅駅構内における貨物列車の脱線事故の概況、復旧作業と今後の運転再開については以下の通りです。

1. 発生日時 平成26年6月22日 4時15分頃
2. 発生箇所 江差線 札苅駅構内
3. 関係列車 第7066列車
(6月21日 札幌貨物ターミナル駅 22時22分発、宇都宮貨物ターミナル駅行)
4. 列車編成 機関車1両、コンテナ貨車20両
5. 脱線車両 コンテナ貨車 コキ107-87

6. 概況

- ・4時15分頃、江差線札苅駅構内を走行中、非常ブレーキが動作して、列車が停車しました。その後、運転士が列車を点検したところコンテナ貨車の後ろから2両目貨車の後部2軸が脱線し、この貨車と一番後ろの貨車1両が、およそ17m分離している状態を発見しました。
- ・その後の調査により、江差線 泉沢駅～札苅駅間33k174m（札苅駅から五稜郭方面へ約1kmの位置）から脱線痕が続いていることが判明しました。
- ・原因については運輸安全委員会が調査中です。
- ・この事故による怪我人はありません。

7. 脱線事故の復旧作業について

- ①6月22日14時05分 貨車のつり上げに使用する70トンクレーンを脱線箇所周辺に入れる足場をつくるため、鋼板50枚の敷設を開始。17時05分頃終了。
- ②19時43分 運輸安全委員会からの現場保全命令解除を受け、復旧作業に着手。
- ③22時10分 70トンクレーンによるつり上げ作業を行うため、車両が停止している箇所の架線を移設。
- ④22時45分 クレーンを使い脱線車両のコンテナを降ろし、その後、脱線した貨車の載線作業を実施。
- ⑤3時37分 貨車の木古内駅への移動が終了。
- ⑥6月23日4時00分 札苅駅構内の破損した転轍機の復旧作業を終了。
- ⑦損傷したPCマクラギ約550本を交換するため、道内各地のPCマクラギを現地へ運搬。現地にPCマクラギが到着し、できるところから順次、交換作業を実施。マクラギ交換は21時頃から開始し、10時現在で約440本が終了。
- ⑧13時05分すべてのマクラギ交換が完了。その後、線路つき固め作業、信号設備の復旧、踏切敷板の補修などの作業を実施。また、作業終了後に確認列車を運行。
- ⑨現在のところ、本日（6月23日）21時過ぎを目処に復旧作業を終了する予定。

8. 今後の運転再開について

現在、運輸安全委員会による事故原因の調査が行われていますが、現時点において事故原因が明らかでないことから、運輸安全委員会による調査結果が出るまでの間、北海道旅客鉄道株式会社として当面の対策を実施し、運転を再開します。

(「江差線 泉沢・札苅間における貨物列車脱線事故に係わる運転再開にあたっての当面の対策について」をご参照ください)

なお、現在のところ、旅客列車については本日(6月23日)札幌駅・青森駅間を運転する「急行はまなす」から、貨物列車については上り6092列車、下り2051列車から運転再開を予定しております。

平成 26 年 6 月 23 日
北海道旅客鉄道株式会社

江差線 泉沢・札苅間における 貨物列車脱線事故に係わる運転再開にあたっての当面の対策について

平成 26 年 6 月 22 日に江差線 泉沢駅～札苅駅間において、貨物列車の脱線事故が発生しました。現在、国土交通省運輸安全委員会による事故原因の調査が行われていますが、現時点において事故原因が明らかでないことから、国土交通省運輸安全委員会による調査結果が出るまでの間、下記のとおり当面の対策を実施のうえ、運転を再開します。

記

1. 当該曲線区間(JR 北海道として推定した今回の脱線箇所)については、45km/h の徐行運転を実施します。
2. 平成 24 年 4 月 26 日、平成 24 年 9 月 11 日に、当該曲線区間(曲線半径 350m、カント 90mm)と概ね同一条件の曲線区間で脱線事故が発生していることから、江差線の曲線半径 350m 以下でカント 90mm 以上の曲線区間(15 曲線)について整備を厳しくします。
なお、具体的な数値については、下表のとおりです。
(整備管理値を超える場合は、15 日以内に補修を完了します)

	現在の整備基準値	当面の整備管理値※
軌間	+25	+10
水準	(平面性にに基づき整備を行う)	12
高低	25	14
通り	25	14
平面性	23 (カントのてい減量を含む)	

- ※ 現時点の江差線では、12 曲線区間(当該曲線区間を含む)が、上記の「当面の整備管理値」を超えており、補修が終了するまで 45km/h の徐行運転とします。
(当該曲線区間は、補修が終了しても 45km/h の徐行運転は継続します)

○江差線 泉沢～札幌駅間 7066列車 脱線位置図

当該曲線諸元

半径	カント	①緩和曲線始点	②円曲線始点	③円曲線終点	④緩和曲線終点
350	90	32k666m	32k736m	33k197m	33k267m

※1 JR北海道として推定した脱線箇所

※2 6/12 大型保線機械による道床つき固め施工(33k178m～33k664m)

